

平成20年3月期  
中間決算説明会

2007年11月16日  
三菱製紙株式会社

**平成20年3月期  
中間決算実績**

# 中間決算ハイライト <連結>

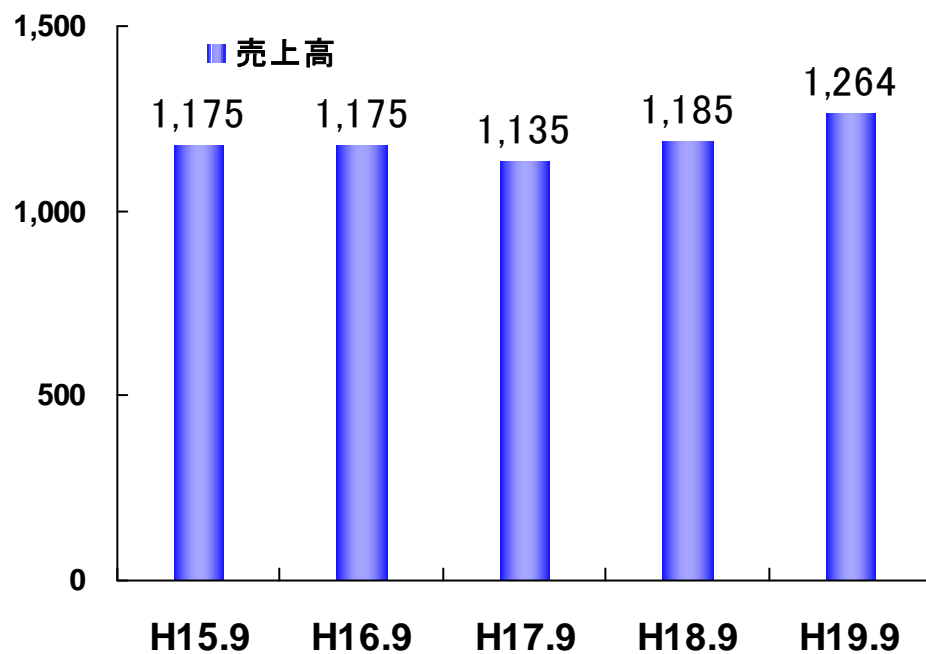
- 売上高 : 価格修正、関係会社売上、デジタルイメージング事業売上増による増収
- 営業利益 : 原燃料価格高騰を価格修正、コストダウン諸施策でカバーし増益
- 経常利益 : 支払利息増等により減益
- 純利益 : 前年中間期は固定資産売却益を計上

(単位:億円)

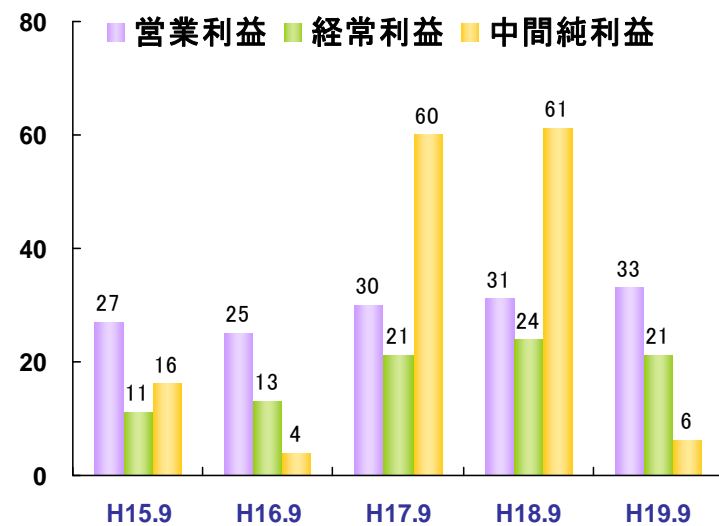
	平成19年3月期 中間		平成20年3月期 中間		前年同期比		平成20年3月期 中間業績予想値 (8月3日公表)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率	金額	構成比 (%)
売上高	1,185	100.0	<b>1,264</b>	<b>100.0</b>	79	6.6	1,250	100.0
営業利益	31	2.6	<b>33</b>	<b>2.6</b>	2	5.1	30	2.4
経常利益	24	2.0	<b>21</b>	<b>1.7</b>	▲3	▲11.7	23	1.8
中間純利益	61	5.1	<b>6</b>	<b>0.5</b>	▲55	▲90.4	10	0.8

# 中間業績推移 <連結>

(単位: 億円)



(単位: 億円)



# 事業の種類別セグメント情報 <連結>

売上高 : 紙パルプは価格修正による増収

営業利益 : 原燃料価格高騰による紙パルプの減益を感材の増益で補った

(単位:億円 %)

		平成19年3月期 中間	平成20年3月期 中間	増減額	増減率
売上高	紙パルプ	1,030	1,104	74	7.2
	感材	164	171	7	4.0
	その他	107	128	21	19.8
	消去	▲116	▲139	▲23	—
	合計	1,185	1,264	79	6.6
営業利益	紙パルプ	22	18	▲4	▲16.2
	感材	5	11	6	107.7
	その他	4	4	0	▲0.2
	消去	0	0	0	—
	合計	31	33	2	5.1

# 所在地別セグメント情報 <連結>

売上高 : 日本は紙の価格修正。ヨーロッパはユーロ高の影響。

営業利益 : 日本は微増。ヨーロッパ、米国はほぼ横ばい。

(単位:億円 %)

		平成19年3月期 中間	平成20年3月期 中間	増減額	増減率
売上高	日本	942	1,001	59	6.3
	ヨーロッパ	233	262	29	12.4
	米国	49	51	2	2.7
	消去	▲39	▲50	▲11	—
	合計	1,185	1,264	79	6.6
営業利益	日本	25	27	2	8.8
	ヨーロッパ	3	3	0	12.0
	米国	1	1	0	▲15.3
	消去	2	2	0	—
	合計	31	33	2	5.1

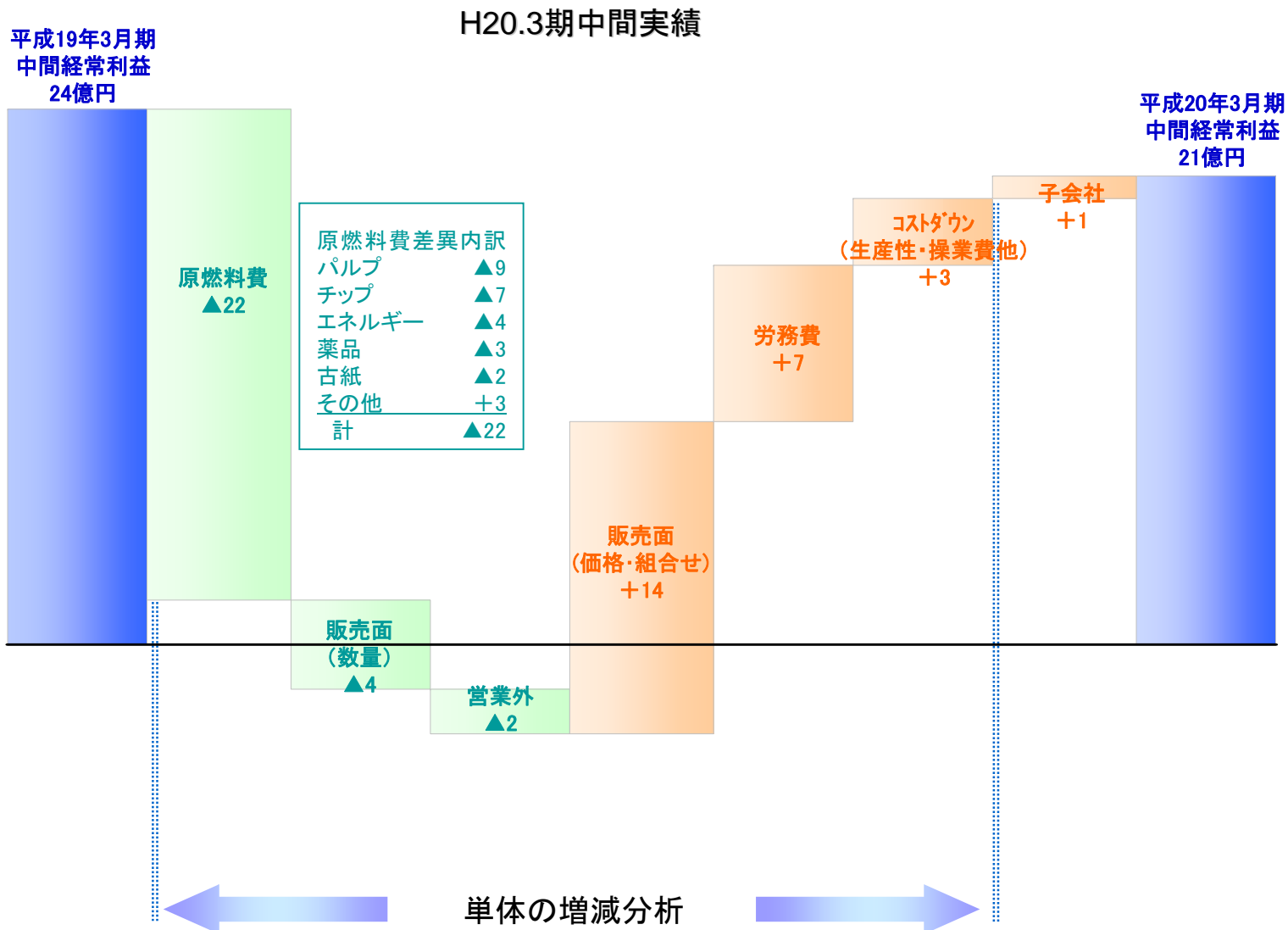
# 品種内訳<単体>

紙 : 価格修正により増収

(単位: 千t・億円)

		平成19年3月期 中間		平成20年3月期 中間	
		販売数量	販売金額	販売数量	販売金額
紙	非塗工紙(上級紙他)	95	106	84	95
	塗工紙 (コーテッド紙・IJ用紙他)	326	382	319	400
	情報用紙 (感熱紙・ノーカーボン紙他)	49	99	48	100
	板紙	24	25	24	26
	その他 (薄葉紙・家庭紙・不織布他)	9	47	10	53
	合計	503	659	485	674
感材		—	98	—	119

# 経常利益増減要因<連結>



# 貸借対照表<連結>

固定資産：設備投資による建設仮勘定増加

固定負債：設備投資による未払金増加

(単位:億円)

	平成19年3月末		平成19年9月末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	金額
<b>資産合計</b>	3,206	100.0	3,252	100.0	+46
流動資産	1,301	40.6	1,310	40.3	+9
固定資産	1,905	59.4	1,942	59.7	+37
有形固定資産	1,288	40.2	1,355	41.7	+67
無形固定資産	26	0.8	24	0.7	▲2
投資その他の資産	591	18.4	563	17.3	▲28
<b>負債合計</b>	2,403	74.9	2,446	75.2	+43
流動負債	1,792	55.9	1,821	56.0	+19
固定負債	611	19.0	625	19.2	+24
<b>純資産</b>	803	25.1	806	24.8	+3
<b>有利子負債(工事未払金含む)</b>	1,634	—	1,617	—	▲17

# キャッシュ・フロー計算書<連結>

営業活動によるキャッシュ・フロー： 前年比増

投資活動によるキャッシュ・フロー： 八戸工場への設備投資等で投資支出増加

財務活動によるキャッシュ・フロー： 投資増加により有利子負債削減額減少

(単位：億円)

	平成19年3月期	平成20年3月期	前年同期比
	中間 金額	中間 金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	62	71	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	35	▲70	▲105
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲69	▲18	51
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1	0
現金及び現金同等物の増減額	29	▲16	▲45
現金及び現金同等物の期首残高	96	103	7
現金及び現金同等物の期末残高	125	87	▲38

**平成20年3月期  
通期予想**

# 通期業績予想〈連結:単体〉

(単位:億円 %)

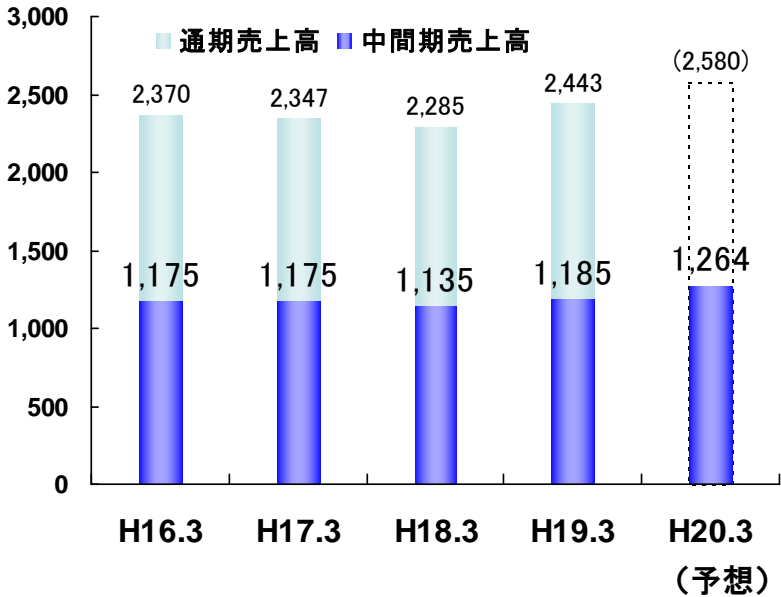
連結	平成19年3月期実績		平成20年3月期		前期比	
	中間	通期	中間(実績)	通期(予想)	金額	増減率
売上高	1,185	2,443	1,264	2,580	137	5.6
紙・パルプ	1,030	2,129	1,104	2,270	141	6.6
感材	164	333	171	360	27	8.1
その他	107	214	128	220	6	2.8
消去	▲116	▲233	▲139	▲270	▲37	—
営業利益	31	73	33	100	27	37.0
経常利益	24	53	21	70	17	32.1
当期純利益	61	73	6	30	▲43	▲58.9

単体	平成19年3月期実績		平成20年3月期		前期比	
	中間	通期	中間(実績)	通期(予想)	金額	増減率
売上高	769	1,576	804	1,690	114	7.2
紙	659	1,347	674	1,410	63	4.7
パルプ	12	23	11	20	▲3	▲13.0
感材	98	206	119	260	54	26.2
営業利益	12	35	10	55	20	59.0
経常利益	13	33	9	45	12	37.1
当期純利益	50	37	2	25	▲12	▲33.3

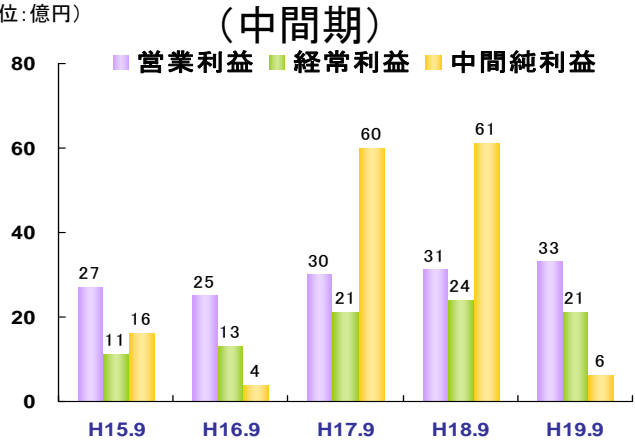
# 業績推移 <連結:予想>

- 売上高** : 紙価格修正や写真用原紙、インクジェット用紙等の拡販による増収
- 営業利益** : 原燃料費高騰を価格修正、プロダクトミックス改善、投資効果、コストダウン等でカバーして増益
- 純利益** : 前年度は固定資産売却益が大きかったため減益

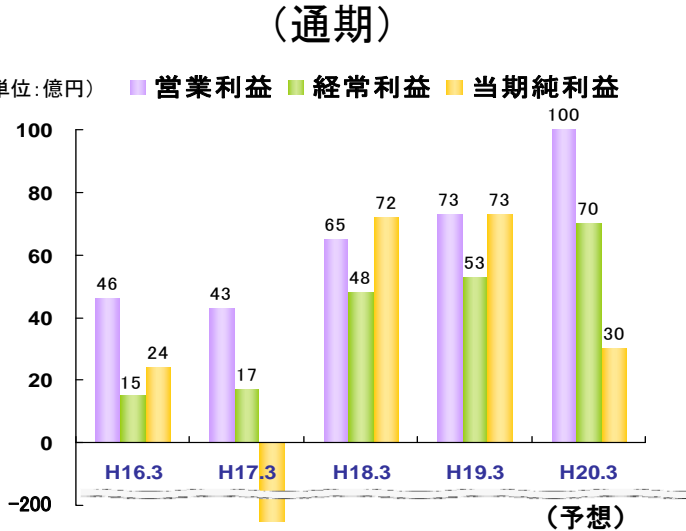
(単位:億円)



(単位:億円)



(単位:億円)



▲247

# 品種内訳 <単体:予想>

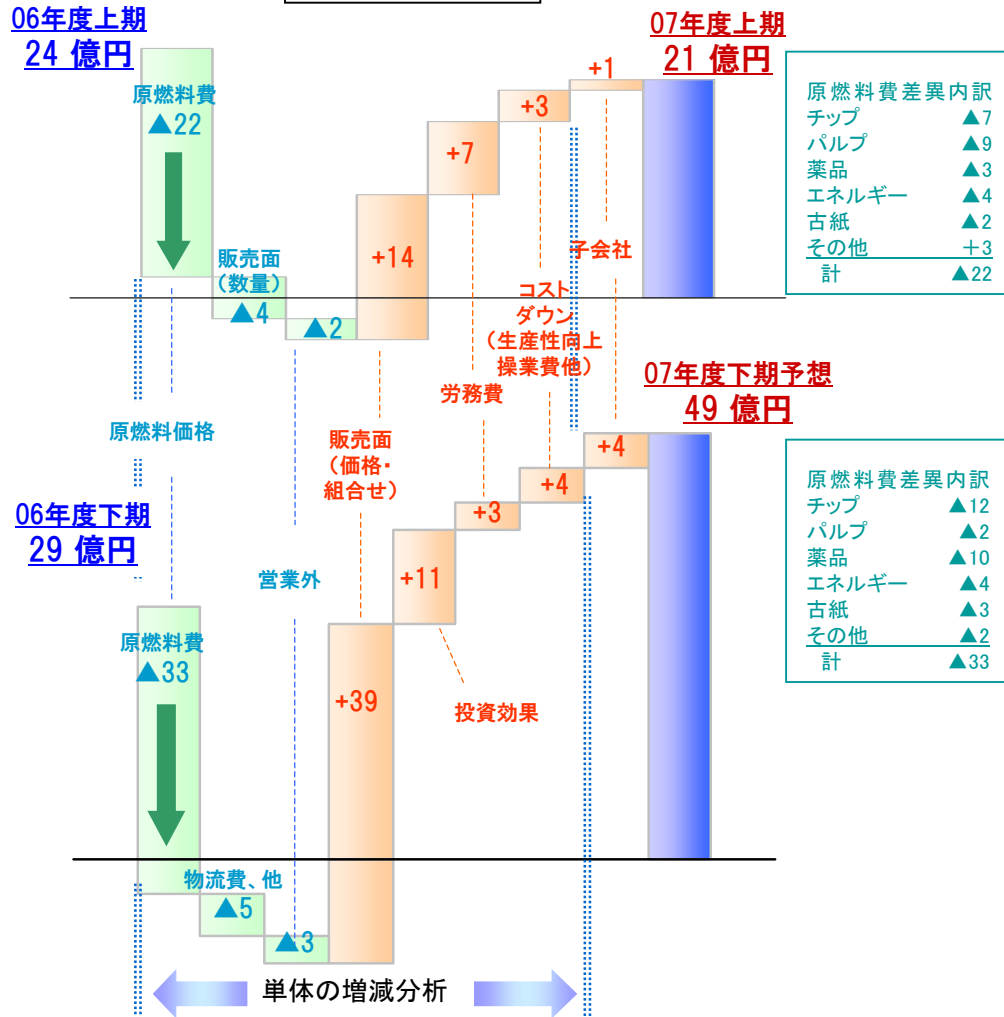
## 紙 : 価格修正により増収

(単位: 千t・億円)

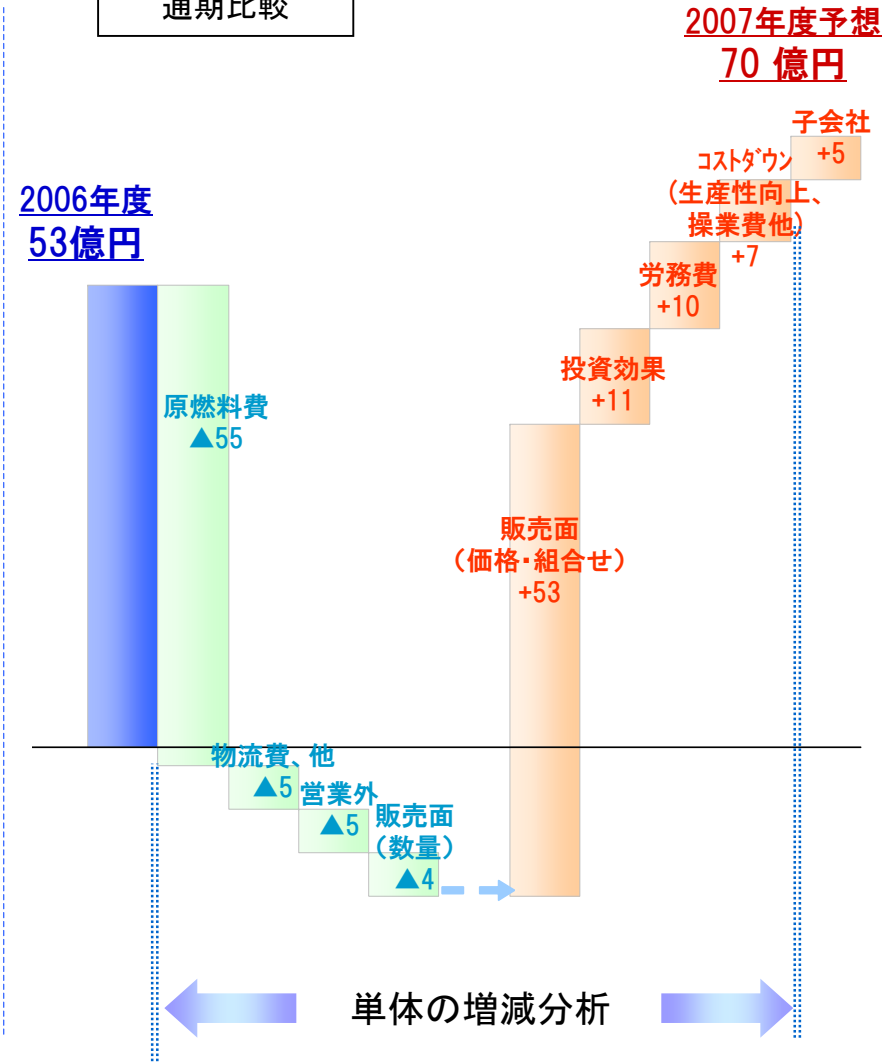
		平成19年3月期		平成20年3月期(予想)	
		販売数量	販売金額	販売数量	販売金額
紙	非塗工紙(上級紙他)	192	210	180	206
	塗工紙 (コーテッド紙・IJ用紙他)	669	788	662	833
	情報用紙 (感熱紙・ノーカーボン紙他)	98	200	97	205
	板紙	49	53	50	54
	その他 (薄葉紙・家庭紙・不織布他)	19	96	20	112
	合計	1,027	1,347	1,009	1,410
感材		—	206	—	260

# 経常利益増減要因<上上・下下・通期比較>

## 上期実績比較



## 通期比較



## 下期予想比較

## 参考指標 <連結>

有利子負債 : フェニックスプランの計画通り、削減を進めている。

減価償却費 : ほぼ前期並み。

設備投資額 : 八戸工場への設備投資等で増加。

	平成19年3月期中間	平成20年3月期中間	平成20年3月期(予想)
有利子負債 (工事未払金含む)	1,675億円	1,617億円	1,540億円
減価償却費	63億円	61億円	125億円
設備投資額	63億円	120億円	230億円
従業員数	4,654人	4,629人	4,540人

# 参考数値 <単体>

	平成19年3月期中間	平成20年3月期中間	平成20年3月期(予想)
為替レート	115.38円/US\$	119.20円/US\$	120.00円/US\$
原木チップ使用数量 (輸入材比率)	580千t (66%)	541千t (67%)	
購入パルプ使用数量 (購入比率)	53千t (13%)	60千t (15%)	
重油使用量	29千kl	26千kl	
石炭使用量	149千t	141千t	
買電使用量 (自家発電比率)	102MWH (87%)	106MWH (86%)	

本資料における将来の見通し等に関する記載は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づくものです。  
今後の実際の業績は、記載の見通しと異なる場合があることをご了承願います。